
第 11 回 研究集会のお知らせ

日本カリキュラム学会 代表理事: 松下 佳代

研究委員会委員長: 上地 完治

テーマ

GIGA スクール構想の課題と展望ーカリキュラムを中心にー

趣旨

文部科学省より GIGA スクール構想（「1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する」）が示され、全国の公立小中学校の全ての児童生徒にモバイルが配布され、学校のネットワーク環境の整備も進められている。

GIGA スクール構想においては、「これまでの我が国の教育実践と最先端のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すこと」がめざされている。ウィズコロナ/アフターコロナの時代の到来を考えれば確かに必要不可欠な環境整備でもあり、GIGA スクール構想によってもたらされる新たな可能性に期待される部分もある。しかし一方で、それはさまざまな疑問を生み出してもいる。例えば「個別最適化」とは何なのか、「協働的な学び」とどう両立しうるのか、本当に教師の「働き方改革」になるのか、家庭環境による格差を拡大することにならないか、などの点である。

ともすれば機器活用が先行しがちであるが、それ以前に次代を担う子どもたちに求められる資質・能力及びその育成のための授業改善、カリキュラム開発が忘れられてはならないだろう。この集会では、GIGA スクール構想の可能性と課題を検討するとともに、学校や地域教育行政等がテクノロジーに振り回されることなく、テクノロジーを教育改善に活かすための方策を、カリキュラム・マネジメントを中心にカリキュラム研究の幅広い知見をもとに共に考えたい。

日時： 2021年3月21日（日）10時00分～12時00分

場所： オンライン（Zoom利用の予定）

コーディネータ・司会

村川雅弘（甲南女子大学）、木原俊行（大阪教育大学）

登壇者

- ①大塚和明（文部科学省 情報教育・外国語教育課情報教育振興室 室長補佐）
- ②高橋 純（東京学芸大学准教授：独立行政法人教職員支援機構客員フェロー、文部科学省「教育の情報化に関する手引」作成検討会委員など）
- ③中川斉史（徳島市高志小学校校長：文科省 ICT 活用教育アドバイザー、教育情報化コーディネータ1級、総務省地域情報化アドバイザーなど）

指定討論者

西岡加名恵（京都大学）

参加費 無料 (学会員でない方もご参加いただけます)

参加申し込みについて

参加希望者は、以下の URL から申し込みをおこなってください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_kysMAF5TT6yOvWCA0hq0WQ